

## ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)

群馬県前橋市元総社町七三―五

TEL 027・2555・3434

FAX 027・2555・3435

http://www.neues-asahi.jp

春の山菜が出る頃になると沼田の川場にひっそりとある温泉に両親と行くことが恒例になっていました。

桐生から車で足尾方面に向かい旧銅街道(あかがねかいどう)国道一二二号線を水沼駅手前の下田沢信号で左に折れて急坂を上り、日本ロマンチック街道と呼んでいる国道一二〇号線に至る約四〇キロ区間を県道六二号線の中間部に位置している長い峠は、俗に「根利の峠」(ねりのとうげ)と呼ばれ親しまれています。途中「南郷温泉しゃくなげの湯」などもあり山の珍しい植物の鉢植えなども販売していて温泉とともに県外の人々にも人気があります。

この時期は、農村地帯の民家の庭にある花々が溢れるように咲き乱れ、この世のものとは思えないほどの美しさを見せてくれます。

黒澤明の映画「夢」の一シーンのような詩情豊かな風景と、何処からともなく吹いてくる風が「自然の音」を運んできてくれます。路地裏にひっそりと咲いている花々もまた美しいですが、贅沢過ぎるくらいの大自然の中の花々は何と人の心を豊かにしてくれるものかと思えます。

川場の旅館前の川辺には土筆が絨毯のように生え、山椒の木なども見かけられ何気ない風景も楽しめます。

食いしん坊の私は、ヤマメやイワナ、山菜の天ぷら、舞茸汁・・・と沼田ならではの「食」も味わえるので、心身ともにリセットできる一日になります。

情報が溢れるネット社会、自分を見失わずに、自分の立ち位置や価値観をしっかりと持って「今を生きる」ことをもう一度考えてみることも必要かと思えます。そんな事を考えるには大自然の中に自分を置いてみるのも良いでしょう。与えられた一生。自分の時間を、一日一日をどのように過ごしていくのか、家族や友人、そして社会で関わりをもつ人々との時間を大切にしていきたいと思う毎日です。

群馬地域文化振興会では、「石川薫記念地域文化賞受賞者特別講座」を開催します。今回は、先日ご案内しました「沼田藩主真田信利の領内経営と改易」について藤井茂樹先生にお話をさせていただきます。

江戸時代前期の沼田藩主、真田信利。当時の沼田藩領のこと、また改易の経緯なども興味深いことです。

是非、お気軽にご参加ください。(テキスト代五〇〇円・要予約) (武藤)

## ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

## 中村利喜雄 陶展

〈企画〉

会期 五月十二日(土)～二十日(日)  
午前十時～午後五時  
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

伊勢崎市在住の中村利喜雄氏の三年ぶりの個展です。薬灰釉の器の手触り、また鉄釉のどっしりとした質感。日常使いやすい陶食器を手にとってご覧ください。また、詩人でもある中村利喜雄氏の優しさ溢れる動物のオブジェも展示しています。併せてお楽しみください。

## 第7回 群馬工芸美術会五月展

〈企画〉

会期 五月二十六日(土)～六月三日(日)  
午前十時～午後五時三十分(最終日は五時)  
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

群馬工芸美術会の会員の中から今回は二十六名の作家が作品展示いたします。陶芸、染織、七宝、金属、ガラス、人形、皮革など工芸でも多分野による作品展示となります。また、日常使える作品も展示販売いたしますので、是非この機会にお誘い合わせの上、ご来廊ください。会場には、多くの作家が在廊しておりますので会場での会話も併せてお楽しみください。

ノイエス朝日(ギャラリー)は、展覧会会期中以外は休廊しています。また、ゴールデンウィークも休廊となっております。お問合せにつきましては、展覧会会期中にお電話ください。

よろしくお願いたします。

## 〈新刊のご案内〉

句集 月球儀 山本 掌

定価 本体二五〇〇円(税別)

前橋生まれ。オペラ、フランス歌曲の演奏活動もしている山本掌さんの第四句集。

萩原朔太郎の撮影写真に句を書くという新しい試みに挑戦。

声楽においても萩原朔太郎の詩による歌曲にも取り組み、リサイタルを開いている。

俳句の師である金子兜太からも激励され出来た句集。

\*\*

小松健一 鳥里鳥沙 眞月美雨 作品集(ポストカード一五枚)  
彝人― 中国大陸の山岳民族 定価一〇〇〇円(税込)

一九五三年岡山県生まれ、群馬に育った写真家・小松健一氏のポストカード写真集。

\*「句集 月球儀」及び、「彝人―中国大陸の山岳民族」は、ノイエス朝日で取り扱っております。

## 〈県内の展覧会・講演会情報〉

水野 暁 ―リアイティの在りか

(現在、開催中)

会期 七月一日(日)まで 午前十時～午後六時  
会場 高崎市美術館 月曜日休館  
観覧料 一般六〇〇円

\*詳細については、直接お問合せください。

電話 027・324・6125 高崎市美術館

\*\*

## 第五回 著者が著作を語る会

「群馬の鉄道の移り変わり」私が見てきた昭和の鉄道  
講師 原田雅純 氏(産業考古学会・鉄道史学会会員)

日時 五月十日(木)午後二時～三時三十分  
会場 県立図書館三階ホール

主催 群馬県立図書館 電話027・231・3008